

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	経営情報学特別演習
科目基礎情報					
科目番号	0044		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	経営情報学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	4	
教科書/教材	なし				
担当教員	内田 保雄, 武藤 義彦, 松野 成悟, 田川 晋也, 岸川 善紀, 荒川 正幹, 挾間 雅義, 中岡 伊織, 根岸 可奈子, 苗 馨允				
到達目標					
(1) 関連研究や基盤技術等の調査に対して積極的・自主的に取り組むことができること (2) 関連研究や基盤技術等の内容および自身の研究テーマとの関連を報告書にまとめることができること					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安	
評価項目1	関連研究や基盤技術等の調査に対して積極的・自主的に取り組むことができる。8割以上	関連研究や基盤技術等の調査に対して積極的・自主的に取り組むことができる。7割以上	関連研究や基盤技術等の調査に対して積極的・自主的に取り組むことができる。6割以上	関連研究や基盤技術等の調査に対して積極的・自主的に取り組むことができない。6割未満	
評価項目2	関連研究や基盤技術等の内容および自身の研究テーマとの関連を報告書にまとめることができる。8割以上	関連研究や基盤技術等の内容および自身の研究テーマとの関連を報告書にまとめることができる。7割以上	関連研究や基盤技術等の内容および自身の研究テーマとの関連を報告書にまとめることができる。6割以上	関連研究や基盤技術等の内容および自身の研究テーマとの関連を報告書にまとめることができない。6割未満	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	第1・2学期開講。配属された研究室ごとに、卒業研究テーマに取り組む上で必要となる知識やスキルを習得する。到達目標は次の通りである。				
授業の進め方・方法	卒業研究の補完的な科目であり、学生は各研究室に配属され、自身の研究課題の基礎となる知識を修得する。				
注意点	獲得した知識を卒業研究に反映させる。また、指導教員とのディスカッションを通して、研究課題の深い理解や新たな課題の発見を目指す。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	内田 保雄	1. 教育支援システムの開発 2. オープンソース情報システムの研究	
		2週	武藤 義彦	1. deep learning を用いたセンチメント分析 2. リカレントニューラルネットワークを用いた空中手書き文字認識	
		3週	松野 成悟	1. 企業間関係における情報ネットワークの役割の分析 2. ISアウトソーシングに関する理論的・実証的研究	
		4週	二木 映子	1. E-Learningシステムの開発 2. データベースのデータ分析	
		5週	田川 晋也	1. 会計学研究における統計手法の利用 2. 会計事例研究 3. 環境会計	
		6週	岸川 善紀	1. 公的統計を用いた社会経済事象の分析 2. 品質管理手法を用いた品質改善 3. サプライチェーン・リスク・マネジメント	
		7週	荒川 正幹	1. 人工知能 2. 統計的データ解析 3. パズルプログラミング	
		8週	挾間 雅義	1. SCMを用いた経営への応用 2. 最適化理論を用いた経営・数理への応用 3. 経営工学手法を用いた社会現象への応用	
	2ndQ	9週	中岡 伊織	1. 技術開発戦略の調査・分析 2. ソフトコンピューティング 3. 技術経営に関する研究	
		10週	根岸 可奈子	1. 日系企業の国際的活動に関する研究 2. 日本市場における外資系多国籍企業の活動に関する研究 3. 特定の外国市場ないし地域に関する研究	
		11週	苗 馨允	1. 経営情報システムへの応用 2. 企業分析における財務情報の応用	
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合		(1)課題への取り組み	(2)報告書	合計	

総合評価割合	30	70	100
基礎的能力	10	30	40
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	10	30	40
汎用的技能	10	10	20
態度・志向性(人間力)	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0